

平成30年度 秋学期

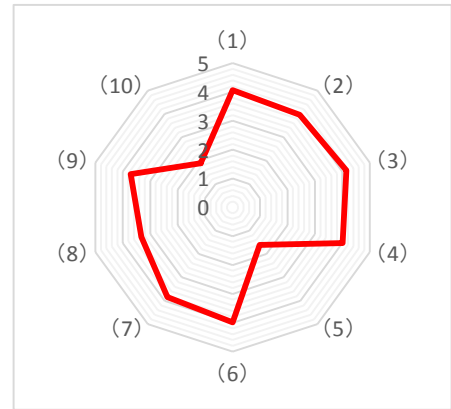
授業アンケート 結果

平成31年2月1日

平成30年度秋学期授業アンケート 平均値

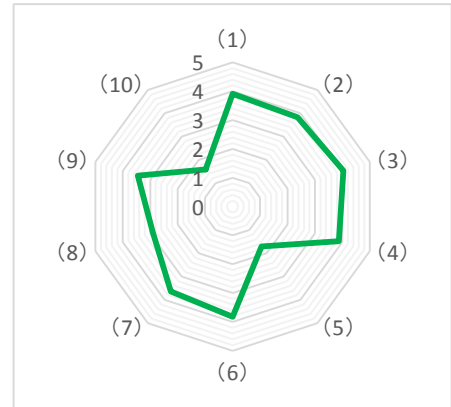
全体集計

	5	4	3	2	1			平均値
(1)	607	867	324	42	28	7587	1868	4.06
(2)	553	879	387	56	39	7593	1914	3.97
(3)	726	790	364	23	12	7940	1915	4.15
(4)	656	765	394	58	40	7678	1913	4.01
(5)	119	123	120	173	1544	3337	2079	1.61
(6)	606	799	413	65	30	7625	1913	3.99
(7)	636	622	452	128	77	7357	1915	3.84
(8)	391	489	596	221	219	6360	1916	3.32
(9)	564	594	519	106	127	7092	1910	3.71
(10)	81	117	287	437	987	3595	1909	1.88



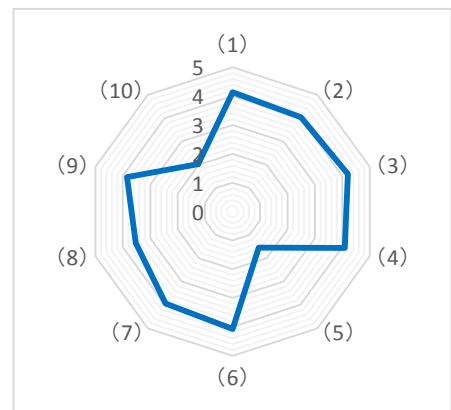
国文学科全体集計

	5	4	3	2	1			平均値
(1)	125	320	133	17	4	2342	599	3.91
(2)	135	322	147	31	12	2478	647	3.83
(3)	209	276	143	15	4	2612	647	4.04
(4)	164	285	156	32	9	2501	646	3.87
(5)	38	50	58	91	480	1226	717	1.71
(6)	143	293	170	33	8	2471	647	3.82
(7)	158	214	180	69	26	2350	647	3.63
(8)	74	117	243	101	112	1881	647	2.91
(9)	132	187	224	50	54	2234	647	3.45
(10)	5	22	76	147	397	1032	647	1.60



子ども学科全体集計

	5	4	3	2	1			平均値
(1)	482	547	191	25	24	5245	1269	4.13
(2)	418	557	240	25	27	5115	1267	4.04
(3)	517	514	221	8	8	5328	1268	4.20
(4)	492	480	238	26	31	5177	1267	4.09
(5)	81	73	62	82	1064	2111	1362	1.55
(6)	463	506	243	32	22	5154	1266	4.07
(7)	478	408	272	59	51	5007	1268	3.95
(8)	317	372	353	120	107	4479	1269	3.53
(9)	432	407	295	56	73	4858	1263	3.85
(10)	76	95	211	290	590	2563	1262	2.03



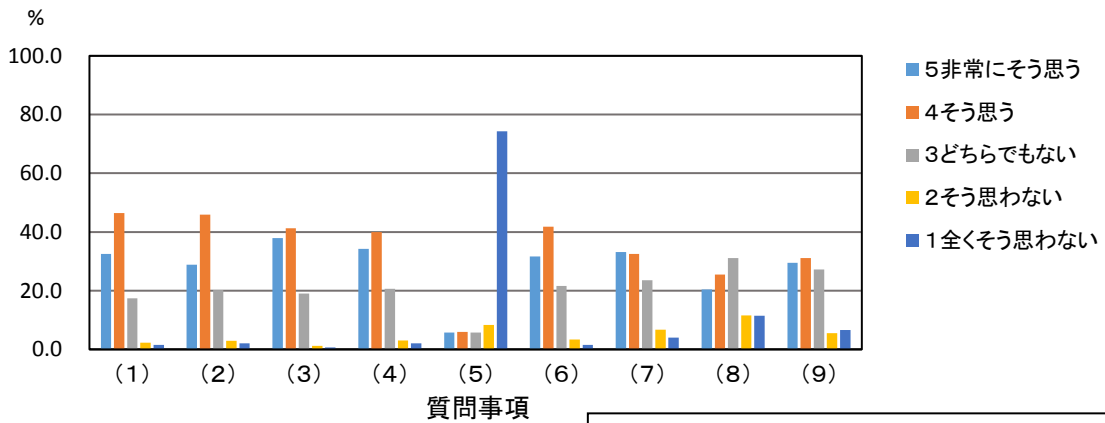
平成30年度 秋学期 授業アンケート

● 全体集計

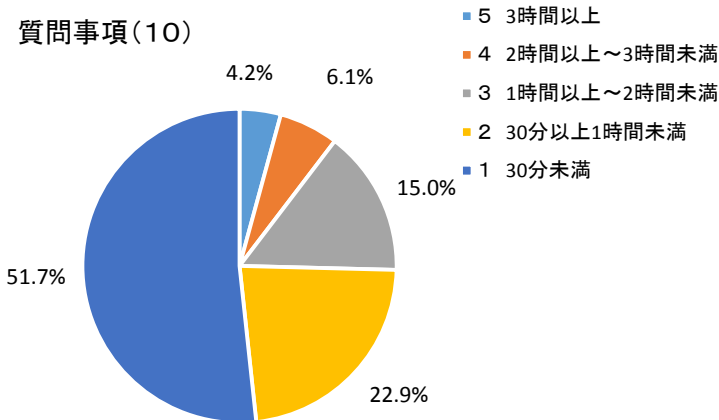
受講人数	回収数	回収率(%)
2245	1916	85.35

	5	4	3	2	1	計
(1)	607	867	324	42	28	1868
(2)	553	879	387	56	39	1914
(3)	726	790	364	23	12	1915
(4)	656	765	394	58	40	1913
(5)	119	123	120	173	1544	2079
(6)	606	799	413	65	30	1913
(7)	636	622	452	128	77	1915
(8)	391	489	596	221	219	1916
(9)	564	594	519	106	127	1910
(10)	81	117	287	437	987	1909

	5	4	3	2	1	
(1)	32.5	46.4	17.3	2.2	1.5	100.0
(2)	28.9	45.9	20.2	2.9	2.0	100.0
(3)	37.9	41.3	19.0	1.2	0.6	100.0
(4)	34.3	40.0	20.6	3.0	2.1	100.0
(5)	5.7	5.9	5.8	8.3	74.3	100.0
(6)	31.7	41.8	21.6	3.4	1.6	100.0
(7)	33.2	32.5	23.6	6.7	4.0	100.0
(8)	20.4	25.5	31.1	11.5	11.4	100.0
(9)	29.5	31.1	27.2	5.5	6.6	100.0
(10)	4.2	6.1	15.0	22.9	51.7	100.0



質問事項(10)



- (1) 授業内容は興味・関心が持てましたか。
- (2) 授業内容をよく理解できましたか。
- (3) この授業はシラバスに沿った内容でしたか。
【言葉による説明だけではなく、適切な資料、板書等の活用】
- (4) 学生の理解を促す工夫がされておりましたか。
【言葉による説明だけではなく、適切な資料、板書等の活用】
- (5) 工夫してほしいと感じたことを選んでください。
【5=私語への対応、4=聞き取りやすい話し方、3=教科書・配布資料の活用、2=分かりやすいパワーポイントや板書、1=特になし】
- (6) 教員は学生の理解や反応を見ながら授業を進めておりましたか。
- (7) 教員からの一方的な授業ではなく、発表・話し合い等の工夫がございましたか。
- (8) あなたは、この授業に関して積極的に意見を述べたり、質問したりしましたか。
- (9) あなたは、この授業を継続して学びたいですか。
- (10) あなたは、この授業の予習・復習など自主学習を、1日あたりどのくらい時間をかけましたか。
【5=3時間以上、4=2~3時間、3=1~2時間、2=30分以上1時間未満、1=30分未満】

平成 30 年度秋学期授業アンケートの結果・考察

I 全体の考察

1. 結果の概要

10 項目の授業アンケートおよび自由記述でのアンケート（到達目標の達成度についての自己評価、良かった点・改善点などの記述）を行った。自由記述式アンケートについては各教員が授業検討票において分析考察を行っている。

質問項目（1）「授業内容は興味・関心が持てましたか」

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
平成 29 年度春学期	34.5%	44.8%	79.3%
平成 29 年度秋学期	37.3%	44.2%	81.5%
平成 30 年度春学期	36.1%	44.0%	80.1%
平成 30 年度秋学期	32.5%	46.4%	78.9%

昨年同時期や本年春学期に比べ「非常にそう思う」が 5%ほど減少しているが、「非常にそう思う」「そう思う」を合計した肯定的評価は 8 割弱である。おおむね授業内容に興味・関心を持って授業に臨んでいると考えられる。

質問項目（2）「授業内容がよく理解できましたか」

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
平成 29 年度春学期	28.5%	46.5%	75.0%
平成 29 年度秋学期	31.0%	45.7%	76.7%
平成 30 年度春学期	28.3%	44.3%	72.6%
平成 30 年度秋学期	28.9%	45.9%	74.8%

昨年同時期に比べ「非常にそう思う」は 2%ほど低下、「そう思う」はほぼ横這いであり、本年春学期に比べると若干高くなっている。興味・関心に比べて理解は若干低い数値を示しており、授業方法の改善により、理解を深めていける余地が大きいとも言えよう。

質問項目（5）「工夫してほしいと感じたことを選んでください」【5=私語への対応、4=聞き取りやすい話し方、3=教科書・配布資料の活用、2=分かりやすいパワーポイントや板書、1=特になし】

	1	2	3	4	5
平成 29 年度春学期	9.2%	11.0%	8.1%	10.2%	61.5%
平成 29 年度秋学期	7.6%	10.2%	6.2%	10.9%	65.1%
平成 30 年度春学期	5.1%	6.8%	6.1%	9.3%	72.7%
平成 30 年度秋学期	5.7%	5.9%	5.8%	8.3%	74.3%

教員による授業運営上の工夫に対する要望は上記のような結果である。昨年に比べて全体的に要望が減っており、「特になし」という解答が増えてきており、教員の工夫が学生に評価されてきているといえよう。私語への対応については春学期に比べると微増しているが、昨年に比して改善されてきている。

質問項目 (10)「あなたは、この授業の予習・復習など自主学習を、1日あたりどのくらい時間をかけましたか」【5=3時間以上、4=2～3時間、3=1～2時間、2=30分以上1時間未満、1=30分未満】

	1	2	3	4	5
平成 29 年度秋学期	4.3%	7.1%	15.1%	22.1%	51.4%
平成 30 年度春学期	3.3%	4.8%	15.5%	22.5%	53.9%
平成 30 年度秋学期	4.2%	6.1%	15.0%	22.9%	51.7%

春学期に比べると2時間以上の回答が増え、30分未満が2%減っている。また平成29年秋学期とほぼ同様の数値を示している。春学期に比べ秋学期の自主学習時間が増える傾向にあるのは、自習を必要とする科目が多く設置されているためか、学習習慣が身につけていくためか、また別の要因からかはアンケートからは判然としない。

全体の平均値で見ると、春学期1.82に対し秋学期は1.88と若干の伸びを示している。これは子ども学科が1.79から2.03と大幅に伸びているためである。反対に国文学科では1.9から1.6と0.3低下している。引き続き学習時間の確保に注力する必要がある。

2. 改善の方向

学習習慣についてはおおむね両学科とも少しずつ定着している傾向にある。これは入学前教育の段階から学習を習慣化させる取り組みを行っている成果と考えられる。ただし、現状でも年度ごとの差異や個人人の差異が大きい。その差異をどのようにして埋めていくのかは今後重要な課題である。学年ごと、個人ごとの特性や差異を把握し、適切な学習指導を行っていく必要がある。

また、担当教員が授業改善を図っていくこともいっそう推進しなければならない。本学でのアクティブ・ラーニングの取り組みは一定の効果を表していると評価できる。いわゆるアクティブ・ラーニングに限らず、学生が主体的能動的に学ぶ動機付けや環境づくり、授業の運営、学生指導などを教員が効果的に行っていくためのFD活動は重要である。

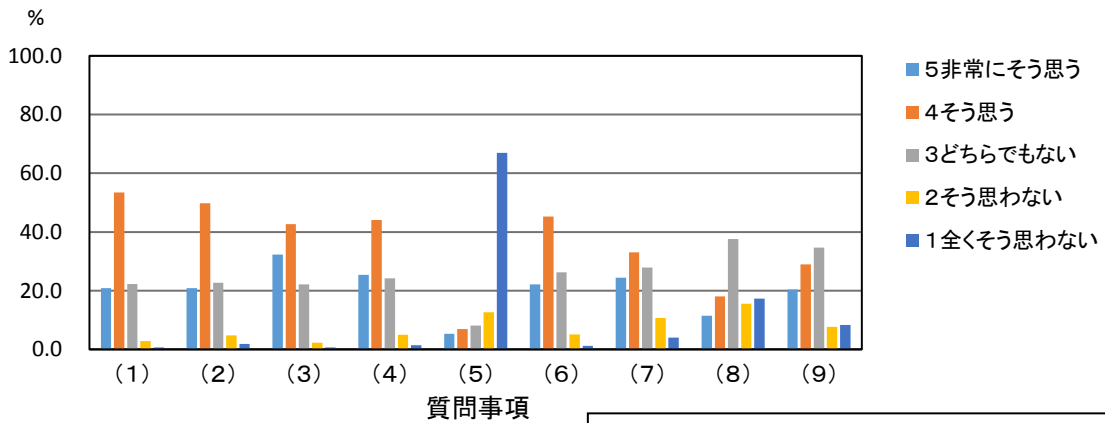
平成30年度 秋学期 授業アンケート

国文学科集計

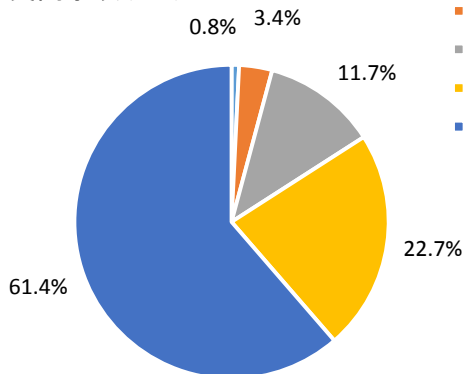
受講人数	回収数	回収率(%)
709	647	91.26

	5	4	3	2	1	計
(1)	125	320	133	17	4	599
(2)	135	322	147	31	12	647
(3)	209	276	143	15	4	647
(4)	164	285	156	32	9	646
(5)	38	50	58	91	480	717
(6)	143	293	170	33	8	647
(7)	158	214	180	69	26	647
(8)	74	117	243	101	112	647
(9)	132	187	224	50	54	647
(10)	5	22	76	147	397	647

	5	4	3	2	1	
(1)	20.9	53.4	22.2	2.8	0.7	100.0
(2)	20.9	49.8	22.7	4.8	1.9	100.0
(3)	32.3	42.7	22.1	2.3	0.6	100.0
(4)	25.4	44.1	24.1	5.0	1.4	100.0
(5)	5.3	7.0	8.1	12.7	66.9	100.0
(6)	22.1	45.3	26.3	5.1	1.2	100.0
(7)	24.4	33.1	27.8	10.7	4.0	100.0
(8)	11.4	18.1	37.6	15.6	17.3	100.0
(9)	20.4	28.9	34.6	7.7	8.3	100.0
(10)	0.8	3.4	11.7	22.7	61.4	100.0



質問事項(10)



- 5 3時間以上
- 4 2時間以上～3時間未満
- 3 1時間以上～2時間未満
- 2 30分以上1時間未満
- 1 30分未満

- (1) 授業内容は興味・関心が持てましたか。
- (2) 授業内容をよく理解できましたか。
- (3) この授業はシラバスに沿った内容でしたか。
- (4) 学生の理解を促す工夫がされていきましたか。
【言葉による説明だけでなく、適切な資料、板書等の活用】
- (5) 工夫してほしいと感じたことを選んでください。
【5=私語への対応、4=聞き取りやすい話し方、3=教科書・配布資料の活用、2=分かりやすいパワーポイントや板書、1=特になし】
- (6) 教員は学生の理解や反応を見ながら授業を進めていましたか。
- (7) 教員からの一方的な授業ではなく、発表・話し合い等の工夫がありましたか。
- (8) あなたは、この授業に関して積極的に意見を述べたり、質問したりしましたか。
- (9) あなたは、この授業を継続して学びたいですか。
- (10) あなたは、この授業の予習・復習など自主学習を、1日あたりどのくらい時間をかけましたか。
【5=3時間以上、4=2～3時間、3=1～2時間、2=30分以上1時間未満、1=30分未満】

Ⅱ国文学科の考察

1. 結果の概要

質問項目（2）「授業内容がよく理解できましたか」については、昨年の同時期および今年の春学期と比べると次のようになる。

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
平成 29 年度秋学期	22.0%	48.8%	70.8%
平成 30 年度春学期	22.9%	45.7%	68.6%
平成 30 年度秋学期	20.9%	49.8%	70.7%

昨年度同時期と比較すると、合計はほぼ同じであるが「非常にそう思う」微減、「そう思う」が微増している。春学期に比べると「非常にそう思う」が 2%減、「そう思う」が 4%増であり、3 学期の比較において特筆するほどの大きな差はない。

同じ項目の学年ごとの違いは以下の通りである。

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
1 年生春学期	20.9%	49.0%	69.9%
1 年生秋学期	13.7%	48.3%	62.0%
2 年生春学期	25.4%	41.3%	66.7%
2 年生秋学期	26.1%	51.8%	77.9%

春学期から秋学期で、1 年生が大きく低下し、2 年生が増加していることがわかる。「非常にそう思う」「そう思う」の合計を比べると、ほぼ 16%もの違いがあり、看過できない結果を示している。

授業内容に興味・関心を持たたかという項目に対する 1 年生の回答は、

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
1 年生春学期	24.7%	49.3%	74.0%
1 年生秋学期	2.7%	60.5%	63.2%

と、合計で 9%以上下落し、特に「非常にそう思う」との回答はわずか 2.7%しかない。1 年生については、興味・関心も理解も低く、春学期から秋学期になって低下しているということが読み取れる。

質問項目（10）の各科目ごとの学習時間の比較は以下の通りである。

	3 時間以上	2 時間以上 3 時間未満	1 時間以上 2 時間未満	30 分以上 1 時間未満	30 分未満
1 年生春学期	3.4%	4.1%	22.0%	26.0%	44.6%
1 年生秋学期	2.7%	4.1%	12.2%	17.0%	65.7%
2 年生春学期	1.8%	4.7%	12.9%	28.8%	51.8%
2 年生秋学期	0.5%	2.9%	11.4%	26.9%	58.2%

昨年度秋学期と今年度春学期の比較では、1 時間以上 2 時間未満が 8%近く伸びており、30 分未満が 13%近く低下しており、明白な伸びを示していた。今年度に入り、2 年生については春から秋で少しずつ減少している。ここでも顕著なのは、1 年生の学習時間の減少である。2 時間以上の学習については大きな変化はないが、それ以下が大きく減少している。興味・関心や理解と学習時間は相関関係があると考えられ、1 年生については学習の習慣化が進んでいるとは言い難い。

2. 改善の方向

2 年生については、学習習慣は徐々にではあるが定着しており、一定の学修成果も得られているが、1 年生については学習習慣が定着していないと考えられ、学習意欲も十分とは言えない。どのようにして学習に対するインセンティブやモチベーションを持たせ高めていくのか、学科で引き続き検討していく必要がある。

授業内容の理解についても低下しており、早急な改善が必要である。主体的に学習を行うことにより理解が深められることは明らかであるが、そのためにも、インセンティブやモチベーションを持たせて学生の主体的な学びにつなげていくことの模索が重要である。

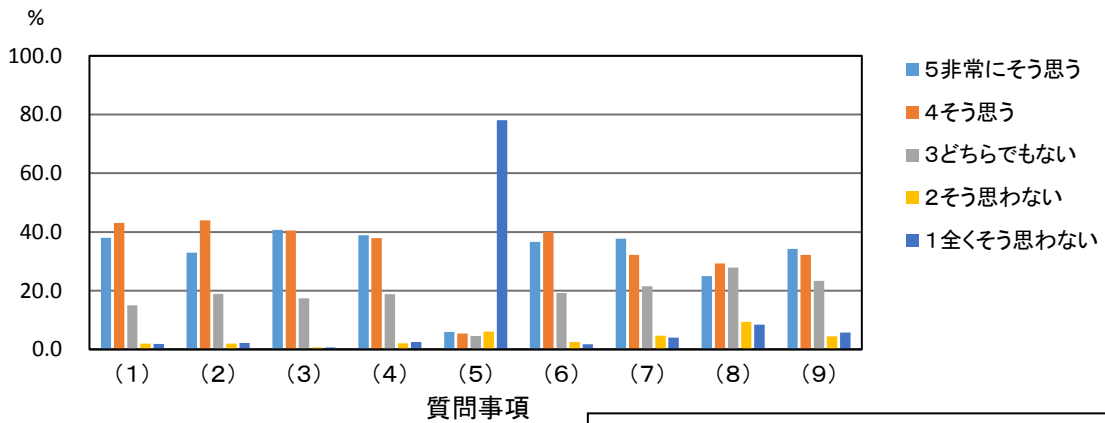
平成30年度 秋学期 授業アンケート

● 子ども学科集計

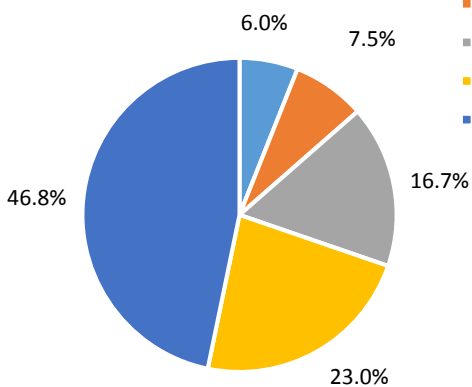
受講人数	回収数	回収率(%)
1536	1269	82.62

	5	4	3	2	1	計
(1)	482	547	191	25	24	1269
(2)	418	557	240	25	27	1267
(3)	517	514	221	8	8	1268
(4)	492	480	238	26	31	1267
(5)	81	73	62	82	1064	1362
(6)	463	506	243	32	22	1266
(7)	478	408	272	59	51	1268
(8)	317	372	353	120	107	1269
(9)	432	407	295	56	73	1263
(10)	76	95	211	290	590	1262

	5	4	3	2	1	
(1)	38.0	43.1	15.1	2.0	1.9	100.0
(2)	33.0	44.0	18.9	2.0	2.1	100.0
(3)	40.8	40.5	17.4	0.6	0.6	100.0
(4)	38.8	37.9	18.8	2.1	2.4	100.0
(5)	5.9	5.4	4.6	6.0	78.1	100.0
(6)	36.6	40.0	19.2	2.5	1.7	100.0
(7)	37.7	32.2	21.5	4.7	4.0	100.0
(8)	25.0	29.3	27.8	9.5	8.4	100.0
(9)	34.2	32.2	23.4	4.4	5.8	100.0
(10)	6.0	7.5	16.7	23.0	46.8	100.0



質問事項(10)



- (1) 授業内容は興味・関心が持てましたか。
- (2) 授業内容をよく理解できましたか。
- (3) この授業はシラバスに沿った内容でしたか。
- (4) 学生の理解を促す工夫がされておりましたか。
【言葉による説明だけでなく、適切な資料、板書等の活用】
- (5) 工夫してほしいと感じたことを選んでください。
【5=私語への対応、4=聞き取りやすい話し方、3=教科書・配布資料の活用、2=分かりやすいパワーポイントや板書、1=特になし】
- (6) 教員は学生の理解や反応を見ながら授業を進めておりましたか。
- (7) 教員からの一方的な授業ではなく、発表・話し合い等の工夫がございましたか。
- (8) あなたは、この授業に関して積極的に意見を述べたり、質問したりしましたか。
- (9) あなたは、この授業を継続して学びたいですか。
- (10) あなたは、この授業の予習・復習など自主学習を、1日あたりどのくらい時間をかけましたか。
【5=3時間以上、4=2~3時間、3=1~2時間、2=30分以上1時間未満、1=30分未満】

Ⅲ 子ども学科の考察

1. 結果の概要

質問項目（2）「授業内容がよく理解できましたか。」については、

	非常にそう思う	そう思う	合計
平成30年度春学期	28.2	45.0	73.2
平成30年度秋学期	33.0	44.0	77.0

という結果であった。春学期の結果と比較してみると、肯定的に評価している割合が少しであるが向上している。

本学では、アクティブラーニングを取り入れた授業の推進を授業改善の観点とし、実践交流会を開催したりして授業実践に取り組んできた。その成果として、質問項目（7）「教員からの一方的な授業でなく、発表・話し合い等の工夫がありましたか」を見てみると、春学期は平均値が4.00で、秋学期も3.95と継続して高い数値であった。アクティブラーニングを取り入れた授業が、徐々に定着してきていると考えることができる。また、このことを科目毎で見っていくと、教科教育法では質問項目（2）に対して肯定的に評価している割合が90%以上である。その教科の質問項目（7）「教員からの一方的な授業ではなく、発表・話し合い等の工夫がありましたか。」を見てみると、「非常にそう思う」の割合が100%であった。

こうした結果から、アクティブラーニングを取り入れた授業が推進されている科目では、理解度も高いという結果になっていると言える。今後も引き続きFD活動を積極的に推進し、アクティブラーニングを取り入れた授業改善を一層推進していくことが必要である。

質問項目（10）については、春学期の平均値が1.78であったが秋学期には2.03になった。その中で、教科教育法やピアノ等の実技を伴う科目は学習時間が高くなっている。放課後等を活用して指導案を作成したりピアノの練習をしたりして予習復習に取り組んでいる姿が読み取れる。小学校教諭や幼稚園教諭、保育士の免許や資格を取得するという目的意識をもって学習に取り組んでいる結果であると考えられる。一方、座学を中心に学習が進められている教科については、学習時間が十分に確保されていないという結果が見られる。今後も、各教科においては、課題の与え方を含め学習活動を一層工夫しながら主体的な学びとなるように実践の進化充実を図っていきたい。

2. 改善の方向

春学期と同様に学習内容の理解度は高く、今後ともアクティブラーニングを取り入れた授業実践の推進に尽力していきたい。今年度は、12月に学科で各教員の授業の中で工夫していることを交流する機会を持った。参加教員からは、授業改善の観点が明確になり意義ある研修であったという意見があった。今後は、こうした研修活動を継続するとともに、授業参観等を取り入れたFD活動の工夫に努め、各教員の更なる授業力の向上に努めたい。